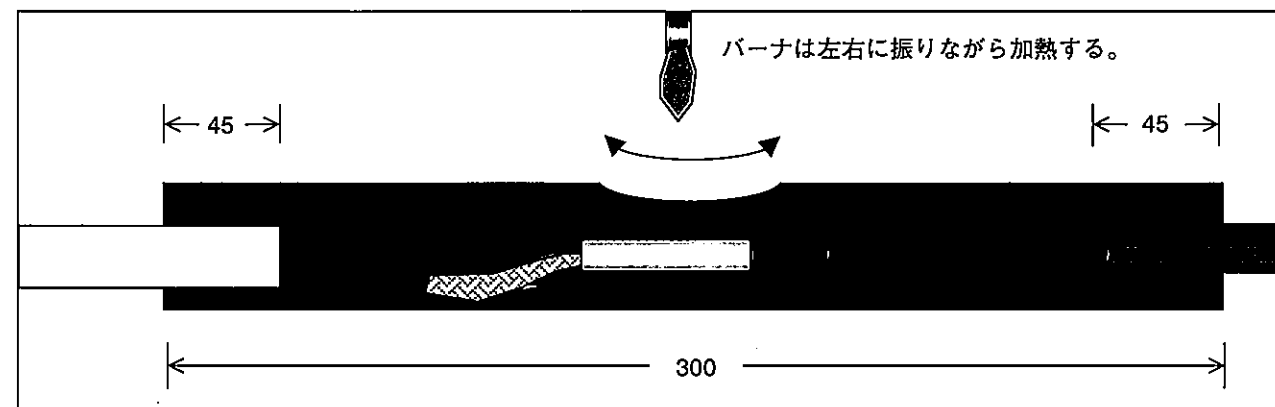


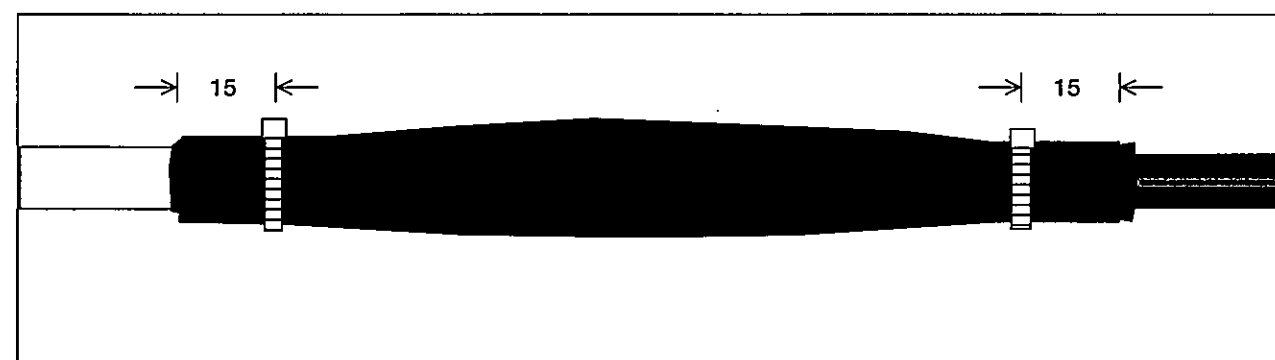
ステップ11

マスチックを団子状にした後、予め電線側に挿入しておいた残りの長い収縮チューブ①を、図のようにヒータ側45mmの重ねを確保し、加熱収縮します。（収縮チューブは中央部から加熱させること。）



ステップ12

収縮チューブが収縮してもチューブ全体に光沢が出るまで加熱し、かつヒータ側と電線側から接着材又はマスチックが流れ出るまで、弱火で全体を加熱します。加熱終了後、図のようにヒータ側とケーブル側のチューブ端部より約15mmの個所を、インシュロックで縛り付けます。（インシュロックで縛り付ける際は手袋を着用し、火傷しないよう注意してください。）



収縮チューブ加工時の注意事項

収縮チューブは必ず中央部から加熱収縮してください。バーナーの炎は収縮チューブから5cm以上離し、左右上下バランスよく動かしながら、焦がさないように収縮してください。



注意

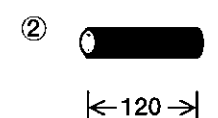
- バーナー使用に際しては細心の注意を払ってください。（事故・損傷の恐れがあります。）
- バーナー使用時は絶対に他人へ向けないよう注意ください。（けが・火傷の恐れがあります）
- バーナー使用時は周囲に可燃物を置かないよう注意ください。（引火・火災の恐れがあります）
- 収縮中、収縮直後のチューブには直接素手で触れないでください。（火傷の恐れがあります）
- チューブ端部より流れ出た接着剤には直接素手で触れないでください。（火傷の恐れがあります）
- 加工時または加工前には要領書を良く読み、作業してください。（事故・損傷の恐れがあります）

埋設用電源処理キット

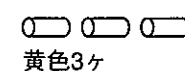
加工要領書

構成部品

■ 熱収縮チューブ黒



■ 絶縁圧縮端子



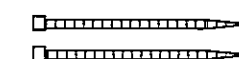
■ マスチック

40mm×6枚



■ インシュロック

150×2本



使用工具

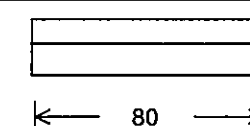
- カッターナイフ
- ニッパー（小型）
- 圧縮ペンチ「絶縁端子用」
- ペンチ
- ラジオペンチ
- バーナー

完成図



ステップ1

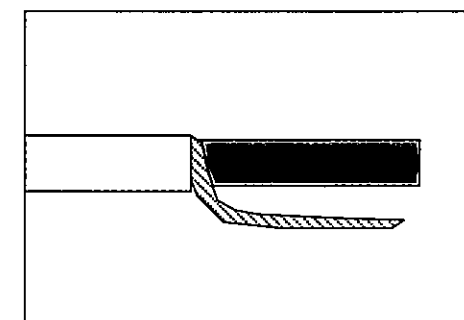
まず、2本の給電線と1本のアース線に収縮チューブ①を、次に2本の給電線にだけ収縮チューブ②を予め挿入した後、ヒータの外層被覆を80mm切り除きます。カッター使用の切込み作業では内側のブレード線および絶縁被覆を損傷させないように注意します。



外層被覆
ブレード線
（内側：絶縁被覆）

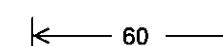
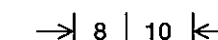
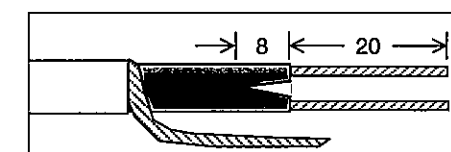
ステップ2

ブレード線を外層被覆のむき出し端部に引き寄せ、ブレード線上に開口部を作り、内側にある絶縁発熱体を引き出し、図のようにビッグテール状に撻ってまとめます。（作業要領は別紙参照ください。）



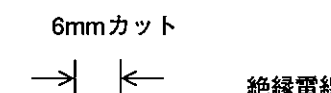
ステップ3

絶縁発熱体の端部より、導線を各々20mm取出します。さらに図のように、導線を中央で二重に折り曲げ、根元をV字カットします。（導線を損傷させないこと。）



ステップ4

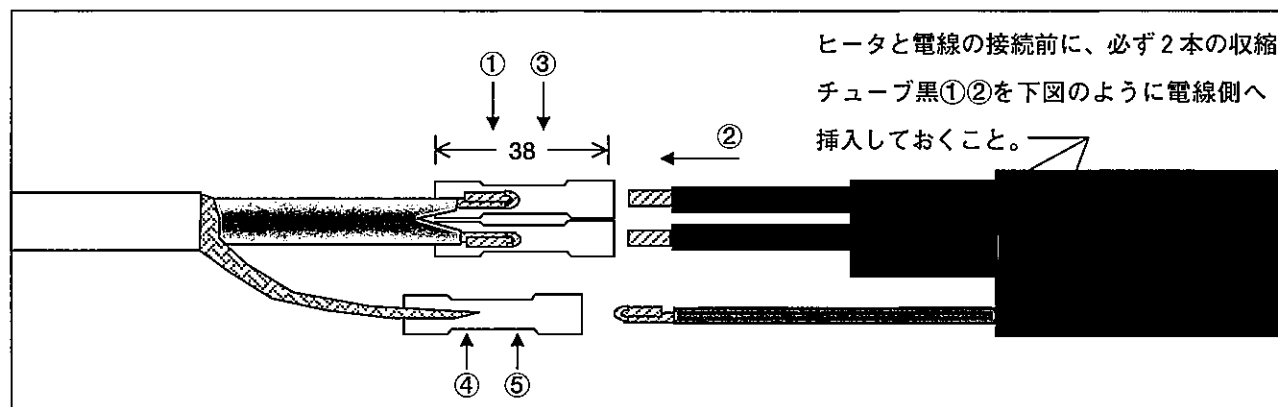
電源供給の絶縁電線（RHVV）の絶縁被覆を図のように各々6mmを剥きます。またアース線は、12mm絶縁被覆を剥き二重に折曲げます。



折曲げる
アース線

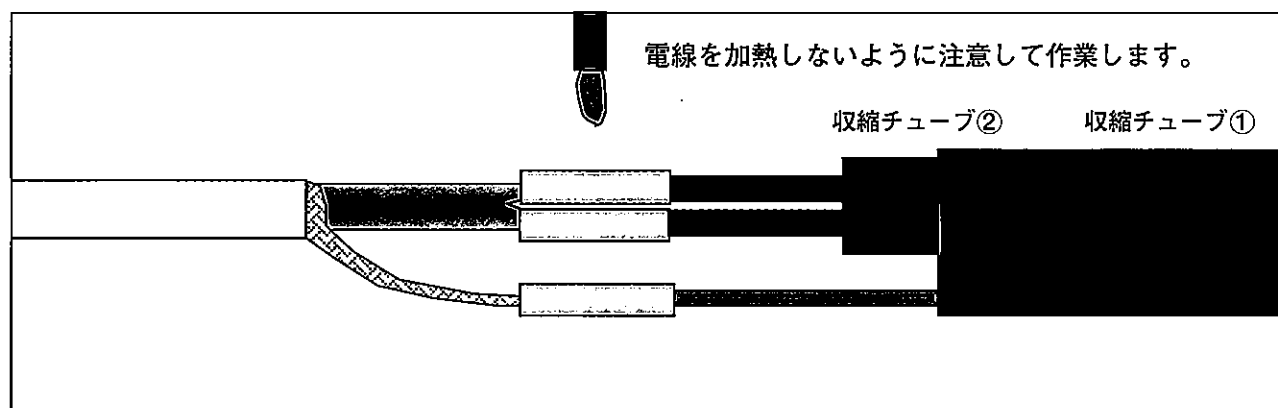
ステップ5

ヒータ導線に絶縁圧着端子（黄色）を圧着し、次に電線（RHVV）を圧着します。（図の○番号手順に従い挿入・圧着）さらにブレード線とアース線を圧着します。（絶縁被覆端子用の圧着ペンチを使用のこと。）



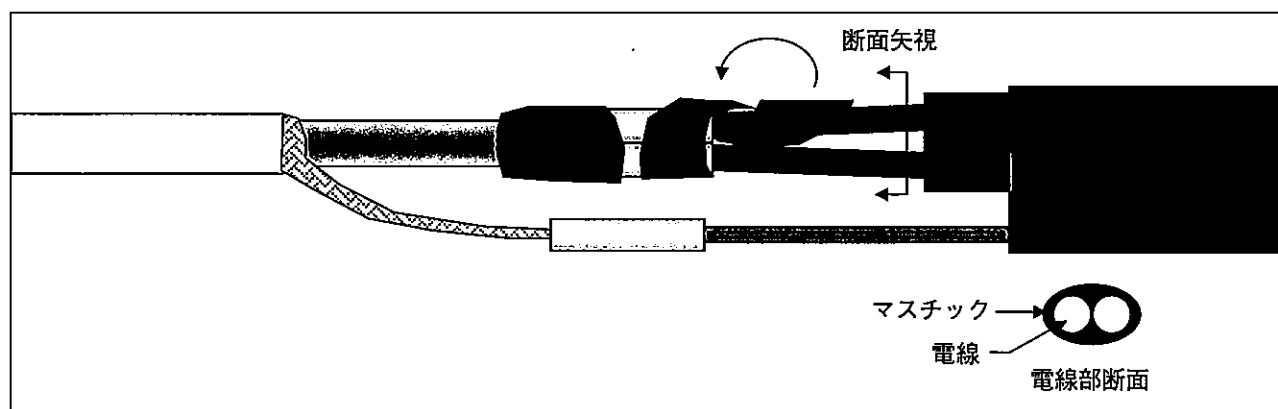
ステップ6

圧着終了後、バーナーで圧着端子の絶縁被覆を収縮します。（中心をゆっくりと加熱します。）



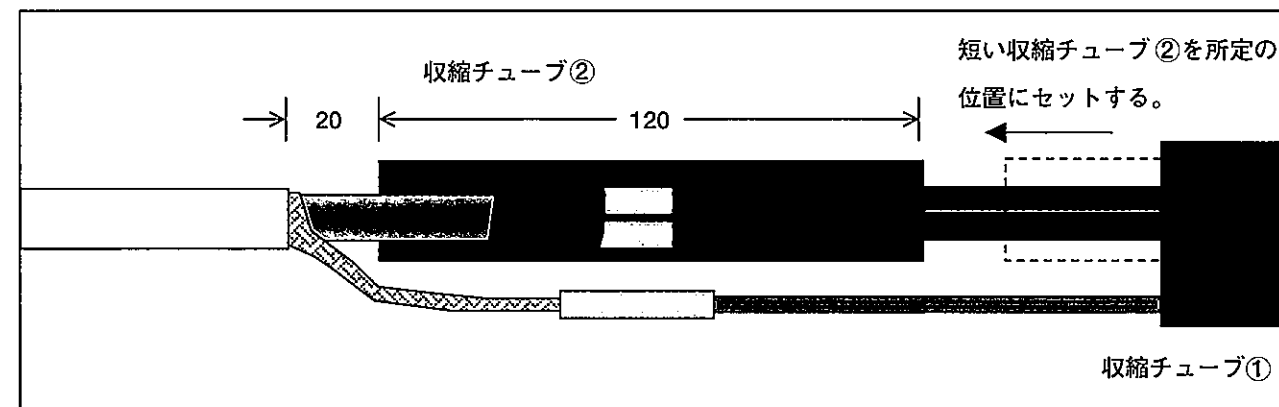
ステップ7

電線側は電線間にマスチックを挟み込むように電線に巻き付け、素手で団子状に引き伸ばします。（下図参照：巻き付け要領および電線部断面）



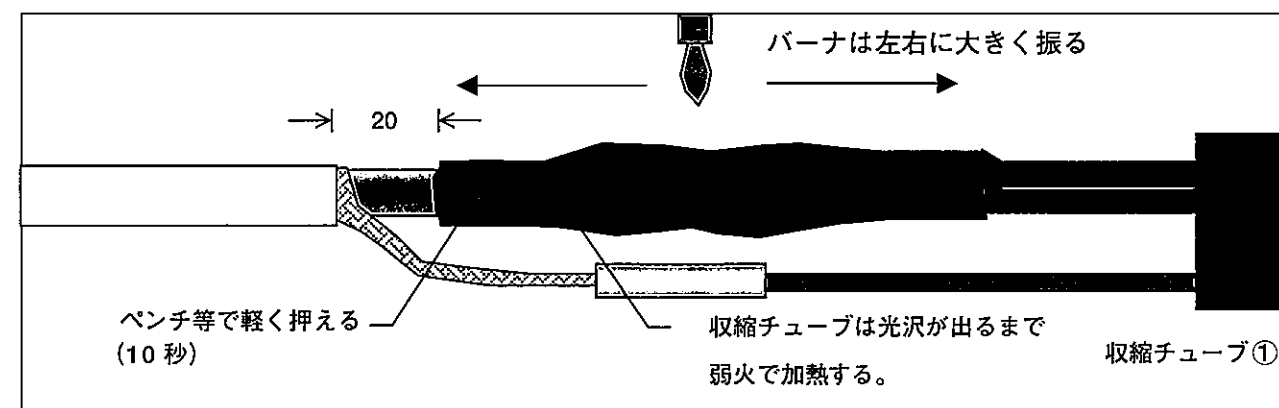
ステップ8

マスチック取付け後、予め電線側に挿入しておいた短い収縮チューブ②を、図のようにヒータと電線間の中心部にセットし、加熱収縮します。



ステップ9

短い収縮チューブ②を加熱収縮後、加熱部が冷えるまで少し時間をおき、引き続きアース線を接続した黄色の絶縁圧着端子を加熱収縮させます。（加熱時は電線を直接加熱しないように、圧着端子の中央部を加熱すること。）



ステップ10

黄色の絶縁圧着端子を加熱収縮後、図のようにヒータ側と電線側にマスチックを巻き付ける。ヒータ側のマスチックは収縮チューブの端部を中心に約50mm幅に巻き込み、素手で団子状にします。電線側のマスチックはアース線と一緒にマスチックで覆いながら全体を団子状にします。

